

日本生理学会若手の会・日本解剖学会若手の会 合同企画シンポジウム

3月28日(日) 16:30-18:30



何が生物の「サイズ」を決めるのか？ ～解剖学・生理学からのアプローチ～

本セッションは日本語で行います

臓器・器官や細胞の解剖学的なサイズは、生理学的な機能を果たすのに重要である。しかし、その「サイズ」を何が決定するのか、その分子機構は未だ不明である。本セッションでは、サイズに関連する研究を行っている若手研究者に登壇いただき、解剖学・生理学の両面から、この課題にアプローチする。

演者：佐藤 達之 (東京大学・院医・循環器内科)
臓器サイズと生理機能の関連：心臓をモデルとして

野村 真 (京都府立医大・神経発生)
Notchシグナルの温度依存性と羊膜類脳の発生・進化

小田 賢幸 (山梨大・院医・解剖)
タンパク質複合体の持つ周期性の分子基盤

浅岡 洋一 (山口大・院医・システムズ再生・病態医化学)
3次元臓器構築に不可欠なYAP –メカノホメオスターシス機構

大澤 志津江 (名古屋大・理・生命理学)
“細胞ターンオーバー”を介した発生ロバストネスの遺伝的基盤

座長：佐藤 達之 (東京大学・日本生理学会若手の会 委員長)

江角 重行 (熊本大学・日本解剖学会若手の会 副委員長)

若手の会への入会や会運営にご興味のある方は
下記メールアドレスへご連絡ください！



日本生理学会
若手の会



yp-admin@umin.ac.jp



日本解剖学会
若手の会



gakkai24@kokuhoken.or.jp

各会のウェブサイトは上記QRコードをスマートフォンでスキャンするとチェックできます。